

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 平成15年度~
大項目: 基本目標 03 地域文化と人が輝くまちづくり
中項目: 基本施策 02 生きがいのあるまちづくり
小項目: 施策 03 成人教育
事務事業名: 04 人材養成講座事業

事業の目的
対象: 地域で実施する生涯学習を通して、団体やグループ活動の指導者になっていただく市民。
目的: 明確なテーマを定めて、市における生涯学習推進の指導者を養成する。
事業の意図する成果: 平成22年度国民文化祭が県下有数の「官民協働」の大会になるよう、ボランティアリーダーの養成を目指す。

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績
事業名: 人材養成講座事業
事業の説明: 平成22年度国民文化祭の開催に合わせ、備前市の文化・歴史に対する一般市民の認識を深めるよう、ボランティアリーダーになっていただく方を養成する。また本年策定した「備前市子ども読書活動推進計画」により、市内の読書ボランティアリーダーの連携と養成に努める。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等
直接事業費: 45 (休止) 42
必要人員人件費: 0.03人 250 0.02人 152
事業費計: 295 194
国県支出金: 295 194
受入金: 0 0
受入金債: 0 0
その他(): 0 0
一般財源: 295 194
受入金債比率: - -
結果指標: 事業 98 (休止) 97
対前年比 %
活動コスト 295,000 194,000
単位当たりコスト 3,010 2,000

事業の成果
成果指標名: 講座受講人数
年度: 平成19年度 100 (休止), 平成20年度 98, 平成21年度 97, 平成22年度目標値 150
達成率(B/A): 98.0%, 97.00%

事務事業の評価
妥当性の評価: 市の関与の妥当性 必要 市民ニーズ
効率性の評価: コスト 手段
有効性の評価: 目的達成度 市民参画度

事業の目的やその他の数値目標を定めておくことで結果指標を評価するための評価を行う

進行年度(H22年度)の改革改善内容
状況: 拡充, 現状継続, 見直し, 縮小, 整理統合, 休止, 廃止・完了
説明: 生涯学習の推進には、ボランティアリーダーの養成が不可欠であり、低コストで課の重要施策に呼应した講座は必要である。この事業は「市民」が主役である。

総合評価
備前市は県下で先駆けて国民文化祭のボランティア活動をスタートした。21年度は県生涯学習講座での事例発表、県国文祭ボランティア研修でも事例発表するなど注目された。本年度は活動の集大成を図るとともに、大会終了後に残ったものは「人材」であると胸を張って言えるような取り組みを行う。また読書計画も策定はスタートであり、進行を図るためこの講座を積極的に活用していく。
評価区分: A

平成23年度の方向性及び取組目標
方向性: 拡充, 現状継続, 見直し, 縮小, 整理統合, 休止, 廃止・完了
取組目標: 23年度は国民文化祭も終了し、新たな生涯学習のターゲットを探っていく。22年度参加者のニーズを把握した上で継続事業とする。